

令和 7 年秋の褒章において当社社員が「黄綬褒章」を受章

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：後藤尚英）は、このたび、当社社員である大川健一が、令和 7 年秋の褒章において「黄綬褒章」を受章したことをお知らせします。

黄綬褒章は、農業、商業、工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や業績を有する者に授与されるものです。

大川は平成 7 年に入社して以来、鋼材圧延の現場を中心に設備の保全、改善に従事してきました。圧延工程は、鋼の塊である鋳片を、お客様の仕様に合わせた様々な太さ、長さに伸ばしていく工程です。

安全な作業環境で、高品質な製品をお客様のご要望どおり、タイムリーかつ確実にお届けするためには、機械の故障を未然に防ぐ設備保全が必要不可欠です。

大川は長年、設備保全に携わる中で培った卓越した知識と技能を活かし、機械故障の未然防止や、異常停止の回避に多大なる貢献をしてきました。作業長として社内の若手技能者へ教育・技能の伝承を行うことに加え、近年は技能検定委員としても積極的に活動し、社内外を問わず鉄鋼業界の発展に尽力しています。

当社では、2030 年ビジョンの経営指針の一つとして「従業員の幸せと会社の発展」を掲げ、積極的な取り組みを進めています。2月26日公表の「[2024-26 年度中期経営計画アップデート](#)」の通り、人を大切にする経営を重要な経営戦略の一つと位置づけ、問題解決力の向上、技能の伝承を通して「世のため、人のため」「お客様のため」「仲間のため」お役に立つ企業であり続けます。

【受章者コメント】

このたびは黄綬褒章の栄に浴し、身に余る光栄と存じます。

入社以来 30 年間、設備保全の現場で機械の安全と安定稼働を支えることを使命に、日々研鑽を重ねてまいりました。また、技能五輪選手の育成に携わり、次世代技能者の成長を近くで見守ることができたのは大きな喜びであり、新たな学びにもなりました。

今回の受章は、職場の仲間や家族の支え、そして諸先輩方ご指導の賜物と深く感謝しております。今後も培った技能と知見を伝承し、自己研鑽に励み、モノづくりを通じ社会に貢献してまいります。



【大川健一 受賞歴】

- ・平成 19 年 第 11 回全国玉掛け安全競技会 優勝
- ・令和元年 第 40 回全国クレーン安全大会表彰
- ・令和 2 年 愛知県優秀技能者表彰
- ・令和 5 年 卓越した技能者（現代の名工） 職種：生産設備保全工